

令和7年度島根県原子力防災訓練への参加について

1 要旨・目的

島根県が実施する令和7年度島根県原子力防災訓練へ参加し、原子力災害時における情報伝達・避難者の受入手順の確認を行い、広域避難の実効性の向上を図る。

2 現状・背景

島根原子力発電所における原子力災害発生時には、島根県との協定に基づき、大崎上島町を除く県内22市町において、島根県内から住民の避難を受け入れることとしており、平成30年度以降、毎年度、島根県原子力防災訓練へ参加している。（令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、住民参加による県内市町への避難訓練は中止。）

今後も島根県から原子力防災訓練への参加要請があれば、協力する。

3 概要

（1）実施主体

島根県

（2）訓練参加日

令和7年11月29日（土）

（3）参加自治体

尾道市

（4）実施内容

島根県松江市（古志原地区）からバスにより避難する住民を、尾道市の避難所において受入

【参考】島根県原子力防災訓練 実施状況

	避難元（地区名）	避難先
平成30年度	松江市（忌部）	神石高原町
令和元年度	出雲市（大津、出西、伊波野、遙堪）	広島市
令和4年度	雲南市（加茂）	三次市
令和5年度	出雲市（久木）	安芸高田市
	雲南市（阿用）	東広島市
令和6年度	雲南市（木次）	三原市